

目標8 2050年までに、激甚化しつつある台風や豪雨を制御し極端風水害の脅威から解放された安全安心な社会を実現
大規模自由度場のアクチュエータ位置最適化

ここから、新・未来へ



Project manager

(2021 年度採択)

野々村拓

名古屋大学 大学院工学研究科
教授



代表機関

名古屋大学

研究開発機関

名古屋大学、東北大学

プロジェクト概要

気象制御を実現するためには、気象制御効果を最大化するためのアクチュエータ位置が不明であるというボトルネックを解決する必要があります。本プロジェクトでは、アクチュエータ位置最適化手法を整理、開発および評価します。そして開発された手法によって得られたアクチュエータ位置を利用することで制御効果が向上することをシミュレーション実験によって示します。

終了時(2024年)のマイルストーン

アクチュエータ(制御入力)位置最適化手法によりアクチュエータ位置を決定し、その際の制御効果を大幅に向上させます。このために、アクチュエータ(制御入力)位置最適化手法を開発・評価します。

研究開発体制 (2024年4月時点)

